

広報 **とめ**

市政だより

OCTOBER.2005

10.21

No.14



宮城県巡回小劇場に参加した、つやま幼稚園児

げきって楽しいね!

MIYAGI TOME PUBLIC INFORMATION

対話から始まるまちづくり



各地域に分かれてまちづくり懇談会が開催されました（写真は東和地域）

9月1日から14日にかけて、登米市総合計画・国土利用計画策定に伴う「まちづくり懇談会」が各地域で開催されました。懇談会には延べ457人の方々に参加し、さまざまな意見や要望が出されました。懇談会で出された課題などの中から、主なものを取り上げてお知らせします。

環境

Q アスベスト対策は国が責任を持つべきである。実態を把握して国に要望し、早急に改修工事を実施してほしい。

A 建設された年代から、アスベストが使用されていると思われる公共施設が市内には48カ所。また、設計図書や図面などからアスベストが使用されていると思われる施設が28カ所あります。アスベスト対策は、国の対応を待たず早急に取り組まなければならない課題と考えております。

産業

Q 売るだけの農業から付加

価値を高めた産物による売れる農業への転換が必要と思う。消費者に対しては環境保全米のアピールが必要と思うが、市長の考えはどうか。

A 農産物のブランド化は非常に重要な対策と考えております。それと併せて、地元の食材を地元で加工して販売するといった地産地消の取り組みも必要であると考えます。さまざまな業種の方々とネットワークを組み、地域の中で関わりを持ち合うことによりビジネスチャンスが広がると思います。意欲のある方々に対して援助していきたいと考えています。

Q 森林資源の有効活用と林業の振興を願いたい。

A 公共施設の建設の際には、

地域資材の活用を積極的に進めるなどして、環境保全、森林の再整備などにつなげていけるよう取り組みたいと考えています。

Q 商業振興に関する具体的な政策が予算に反映されていないのはなぜか。また、空き店舗の有効活用をうたっているが、何ら対策が講じられていない。もっと、商業者に支援をしてほしい。

A 空き店舗対策は難しい課題となっております。今後も商工会や商店街の皆さんと検討を重ねながら、より良い施策を考えていきたいと思えます。

Q 市内には、遊ぶところが少ない。観光客に足を止めさせる施設整備は考えているのか。

A 今は建物を作った新しく観光客を呼ぶことは、難しい時代だと考えています。これからは、市内観光資源のネットワーク化を考えた施策、さらには、癒しの観光も検討すべきと考えています。循環バスや高速バスを活用した観光も検討していきたいと考えています。

Q 学校の給食を登米市の食材で賄えるかどうか教えてほしい。

A 現在、市内の生産物が給食の材料に使用されている割合は少ない状況にあります。今後、優先的に地元食材を使用していきたいと思えますが、安定供給とコストなどが問題になってくると考えています。

防災

Q 地震・水害などの防災体制はどうなっているのか。

A 災害対策本部の設置や連絡体制の確立、市民への周知方法など総合的な検討をしています。特に情報・通信、防災無線などをどのように活用していくか重要な課題となっております。道路交通網が分断された場合や、既存の通信手段が使えなくなった場合の対策も重要と考えています。

Q 学校の耐震診断を実施し、危険な施設から建て替えを行う必要があると思う。また、早急に避難ができる体制づくりも必要である。

A 今年度中に耐震診断を実施し、年次計画により補強工事を行いたいと思っております。避難対策についても、子どもたちが安心して避難できる環

境を整備していきたいと考えています。

医療

Q 市立病院が多過ぎるのではないか。統廃合は考えているのか。

A 現在、登米市内には5つの病院と3つの診療所があります。それぞれの施設の役割分担を含め、総合的な視点で検討をしていく必要があると思っております。地域医療や救急医療を考えた中での施設整備には、周辺市町村との連携や地域医療計画・財政計画に裏付けされた中での十分な検討が必要と考えています。

Q 救急車の数が少ないのではないか。

A 現在、市では3台の救急車を備えています。増車配備に対する要望は強く出されています。救急車1台を配備するためには6人の救急救命士が必要と定められています。救急救命士は、研修施設の定員関係で、毎年15人程度しか県に割り当てがないことから、登米市で1人以上を確保するのが困難な状況となっております。早急な救急車の増車は難

しい状況にあります。今後とも救急救命士の養成について、関係機関と協議を進めながら増車に向けて努力していきたいと考えています。

Q 老健施設にはいつまでもいることができず、老人ホームは入所するまでに100番待ちなどの状況となっている。低所得で一人暮らし老人のための公的施設が、もっと必要だと思う。

A 市が施設を整備することは難しいと思いますが、社会福祉法人などと協議しながら安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えています。なお、転倒防止教室を開催するなど、施設に入るまでの予防の事業も大切であると考えています。

交通

Q 過疎地を重点とした市民バス、通学バスの充実を願っている。特に一人暮らし老人のための市民バスの運行をお願いしたい。

A 市民バスは10月1日から試行します。通学バスは、現在の運行形態の継続を考えていますが、一人暮らしの高齢者の方々に対しては、タクシーなどを活用した方法を検討しています。市民バスについては、試行期間中に市民皆さんからの意見などを取り入れ、より良い運行を行っていきたく考えています。

教育

Q 個性ある学校教育、学力の向上対策について、どのように考えているのか。

A 教育に対する基本方針は、①安全確保と生徒指導の充実 ②学力の向上 ③教育環境の整備が重要と考えています。特に乳幼時期から就学時までの教育環境の整備に取り組みたいと考えています。また、異年齢交流ができる環境も必要であると思っております。



Q 現在、陸上競技場は、築館や一関の競技場を借りているのが現状である。登米市として、陸上競技場の整備計画はあるのか。

A 陸上競技場の整備については、市の戦略プロジェクト事業として位置づけがなされています。今後は、費用対効果を考慮しながら事業の実施時期や建設場所など、総合的に検討していくこととなります。

行政

Q 総合支所の位置づけについては、予算の裏付けもなく中途半端ではないのか。合併当初は、総合支所に重みを持たせなくてはいけないと考えるが。

A 各総合支所の現況の聞き取り調査を行っており、今後は内容を整理、精査した上で、組織改革などを実施していきたいと考えています。

Q 市の広報紙のほかに、地域の行事を載せた旧町域ごとの広報紙を作ってほしい。

A 現在、広報紙には9町満遍なく掲載するよう心掛けています。しかし、旧町域ごとの広報紙発行の要望も多くで



ていますので、十分検討していきたいと思えます。

Q 新市の庁舎をどこに建設するかをはっきりすることで、まちづくりの方向が変わってくると思う。市庁舎がまちづくりの中心になると思っているので、その位置や規模などを、はっきりしていただきたい。

A 10年以内に整備する予定になっていますが、詳細はまだ決まっています。行政組織をどのようにするかを含め、今後の総合計画策定、行財政改革の取り組みのなかで明らかにしていきたいと考えています。建設費は現段階では60億円を予定していますが、内容によってはその規模も変わっていくものと思えます。

市民バス試行事業 モニターを募集します

平成18年4月からの市民バス（ワンコインバス）本格運行に向け、10月1日から試行運転を開始しました。

市民皆さんの意見を本格運行に反映させるため、市民バス試行事業モニターを募集します。

【応募要件】 20歳以上の市在住者で市民バスを利用している人

【募集人員】 10人（先着順）

【任期】 委嘱の日から平成18年3月31日まで

【募集期限】 11月4日（金）

【内容】 現在試行運行している市民バスに関する意見交換会への参加など

※モニター期間中は、市民バスの利用が無料になります。

【応募方法】 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、持参または郵送、電子メールで申し込みください。

申込用紙は企画調整課および各総合支所で配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。

【URL】 <http://www.city.tomeniyagi.jp/>

【応募先・問い合わせ】

〒987-10511
登米市迫町佐沼字中江
二丁目6番地1

登米市企画部企画調整課
まちづくり推進係

☎0220(22)2147

✉kikakuchosei@city.tomeniyagi.jp

または各総合支所総務課



◆小学生以下と障害者の方は無料で利用できます。

小学生以下と障害者の方は試行期間中無料で利用できます。障害者の方は、バスを降りる際、運転手に障害者手帳または療育手帳、精神障害保健福祉手帳を見せてください。

10月23日(日)は宮城県知事選挙

＜投票時間＞

午前7時～午後7時

棄権することなく忘れずに投票しましょう。

11月1日から 迫住民バス時刻表の一部が変更になります

第1便の登米市役所から新田駅区間（佐沼～新田駅方面）の出発時間が、従来より17分早まります。

◆登米市役所発 5:51 ⇒ 新田駅着 6:17

第2便以降やその他の区間は従来のおりです。

【問い合わせ】 迫総合支所総務課地域振興係

☎0220(22)2213

助役・監査委員が 決まりました

9月27日から開会された市議会9月定例会において同意され、助役に井林貢氏（仙台市・南方町出身）、監査委員に清水上芳江氏（迫町）が選任されました。

井林氏には10月17日、清水上氏には同14日に布施市長から辞令が交付され、それぞれ同日付けで就任となりました。



監査委員
清水上 芳江氏（迫町）

主な経歴

- 昭和34年4月 株振興相互銀行入行
- 平成2年4月 株仙台銀行
築館支店長
- 平成13年10月 同行取締役兼
業務監査部長
- 平成15年6月～平成16年10月
仙銀カード株代表取締役社長



助役
井林 貢氏（仙台市）

主な経歴

- 昭和37年4月 宮城県に採用
- 平成2年4月 企画部土地対策課長
- 平成6年4月 総務部人事課長
- 平成7年4月 環境生活部次長
- 平成9年4月 公務研修所長
- 平成14年6月～平成17年10月
仙台空港ビル株専務取締役

医療費を助成します

市では、乳幼児や母子・父子家庭、心身障害者の方への医療費（保険診療による自己負担分）の助成を行っています。該当する場合は、最寄りの総合支所市民福祉課で手続きをしてください。

【対象者】

- ◇乳幼児医療費助成
- ◇小学校就学前までの乳幼児母子・父子家庭医療費助成
- ◇18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子を扶養する母子・父子家庭

庭の母・父およびこれらの者に扶養されている子、父母のいない子

心身障害者医療費助成

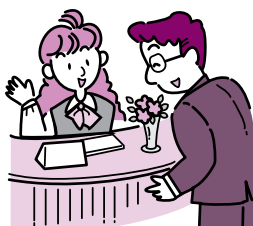
- ◇身体障害者手帳1・2級および3級（内部障害のみ）または療育手帳をお持ちの人

◇特別児童扶養手当の障害程度が1級に該当する人

【手続きに必要なもの】

- ・健康保険証と印鑑
- ・医療費助成用の所得証明書（1月2日以降の転入者である場合のみ）

- ・母子父子家庭で、児童扶養手当を受給していない方は戸籍の謄本
- ・心身障害者であることを証明するもの（身体障害者手帳、療育手帳など）



【問い合わせ】

市民生活部保険医療課
☎02220(58) 2166

10月1日から

医療費助成受給者証の有効期限などが変わりました

□受給者証の有効期間

受給者証の有効期間が1年から3年に延びました。ただし、乳幼児の場合は生年月日により有効期間が違います。

なお、所得の調査を毎年実施し、所得制限額を超過した方などに、受給資格の有無について通知します。

□窓口での負担

社会保険加入の乳幼児も国保加入の乳幼児と同様に、医療機関窓口での負担がなくなりました。ただし、入院などで医療費が高額になった場合などを除きます。

□負担が生じた場合

乳幼児が、入院した場合や受診の際医療機関に受給者証を提示しなかったことなどにより、支払いが生じた場合には、その都度、医療機関で医療費助成申請書に記入していただき、1カ月分をまとめて、各総合支所へ申請してください。

職員人事異動

退職

9月30日付

【収入役】▽会計課参事 芳賀 徳輔

【建設部】▽下水道管理課主幹 平山達郎

【医療局】▽佐沼病院看護師主任 千葉きよ子
▽登米病院准看護師 三浦恭子

併任解除

9月30日付

【福祉事務所】▽生活福祉課 高橋和恵 (県から派遣)

異動

() は前職

10月1日付

【総務部】▽人事課長補佐 (給与総合調整担当) 布田秀一 (県から派遣) ▽管財課技師 佐藤竜英 (総務課技師)

【医療局】▽豊里病院院長兼豊里老人保健施設長 渡邊浩崇 (豊里病院長) ▽豊里病院内科部長 原口雅臣 (豊里病院内科部長兼豊里老人保健施設長) ▽佐沼病院薬剤部長兼登米病院薬剤部長 日下勝夫 (佐沼病院薬剤部長) ▽米谷病院看護部看護師 梶原文二 (米谷病院訪問看護ステーション看護師) ▽米谷病院訪

問看護ステーション看護師 鈴木俊子 (米谷病院看護部看護師) ▽豊里病院津山診療所主査 佐藤幸子 (豊里病院管理課主査)

派遣

() は前職

10月1日付

【宮城県】▽環境生活部男女共同参画推進課 高橋定幸 (教育委員会教育総務課主事)

新規採用

10月1日付

【医療局】▽佐沼病院薬剤部薬剤師 佐々木桂子

ETC専用インターチェンジ
長者原スマートIC
社会実験期間延長決定

【利用期間】平成18年3月31日(金)まで

【利用時間】午前6時～午後10時

【車種】ETC搭載車(大型バス程度まで、けん引車を除く)

建設部土木管理課 ☎0220 (34) 2365

宮城県土木部道路課 ☎022 (211) 3162



佐藤 真生ちゃん
(登米町駅前・ひろみさん)



大江 遥ちゃん
(豊里町新町・篤さん)



山内 秀悟くん
(津山町東下在・正晴さん)



千葉 充紘くん
(津山町本町1丁目・晃さん)

9月27日の3歳児健診(3歳6カ月～7カ月児)でむし歯がなかった子は、市内3地区で10人中4人でした。



女性の健康相談

女性の健康について、女性の医師が相談に応じます。

【相談日】毎週土曜日(予約制)

【時間】午後2時～5時

【会場】仙台市医師会館

【相談内容】

◆病気、更年期など体の悩み
◆育児、禁煙など女性が抱えるいろいろな悩み

【料金】無料

【申込方法】電話で申し込みください。

【予約専用電話】

☎090 (5840) 1993

宮城県女医会女性健康相談室

【受付日時】月～金曜日

午前9時～午後5時

県民公開講座

食育の大切さ、食べることの大切さを感じてください。

【日時】10月30日(日)

午前11時30分～12時30分

【場所】登米祝祭劇場

【内容】講演「次世代の子どもの健康を守るよい食事とよいケア」講師/伊藤矯正歯科クリニック院長 伊藤智恵氏

【問い合わせ】

市民生活部健康推進課

☎0220 (58) 2116

精神保健入門講座を開催します

精神障害に対する誤解や偏見を取り除き、正しい理解を深めてもらうため、精神保健入門講座(中田会場)を開催します。お気軽に参加ください。

【プログラム】 4回シリーズ

◆第1回

【開催日】 11月7日(月)

【内容】

開講式・講話「こころの病気を知らう」講師/国見台病院 精神科医師 小田康彦氏

◆第2回

【開催日】 11月22日(火)

【内容】

交流会 協力/小規模作業所「ばっけの家」

◆第3回

【開催日】 12月12日(月)

【内容】

講話「気持ちを大切に作る聞き方、話し方」講師/MI CA&Associates

◆第4回

【開催日】 12月21日(水)

【内容】

懇話会「私たちもこんなことができる」・閉講式



石越町で開催された精神保健入門講座

※来年度も会場を変えて実施する予定です。

中田総合支所市民福祉課
☎0220(34)2311
市民生活部健康推進課
☎0220(58)2116

【会場】 中田保健福祉会館
【時間】 午前10時～11時45分
【申込方法】 電話で申し込みください。
【申込締切】 10月25日(火)
【申込先】

マイ・バック・キャンペーン (買い物袋持参運動) 実施中!

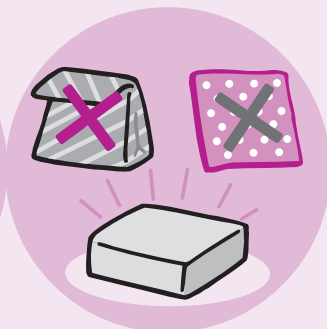
買い物につきものなのがレジ袋です。レジ袋の消費は年間300億枚とも言われており、そのほとんどは、回収・再生されずにごみとして捨てられています。

ごみの減量化を推進するため、マイ・バック・キャンペーンを実施しています。

- ★買い物にはマイ・バックを持参し、レジ袋をもらわないようにしましょう。
- ★過剰な包装は控えましょう。
- ★エコマーク商品やリサイクル商品など環境にやさしい物を買きましょう。

マイ・バック

簡易包装



【問い合わせ】 市民生活部環境課 ☎0220(58)5553
各総合支所市民福祉課

中田町 子宮がん検診実施について

前回の子宮がん検診を受けられなかった人を対象に下記のとおり実施します。

【検診期間】 11月1日(火)～18日(金)

【実施場所】 市内の指定医療機関

【対象者】 30歳以上の女性で、先に実施した子宮がん検診(集団検診)を申し込んで、受けられなかった人

【検診料金】 無料

【受診票の交付】 下記のとおり受診票を交付します。交付日に都合の悪い方は事前に連絡ください。

【交付期間】 10月24日(月)～11月11日(金)

【交付時間】 午前8時30分～午後5時15分

【交付場所】 中田総合支所市民福祉課

【問い合わせ】 中田総合支所市民福祉課

☎0220(34)2311(内線3110)

生ごみ処理機設置補助金

一般家庭で利用される生ごみ処理機などを設置した世帯に対して、補助金を交付しています。補助金の交付世帯数に限りがありますので、購入する前に問い合わせをしてください。

【問い合わせ】 市民生活部環境課 ☎0220(58)5553
各総合支所市民福祉課

暮らしの情報

はんとく苑マラソン大会 伴走ボランティア募集

はんとく苑の利用者と一緒に、自然を楽しみながら走ってみませんか。

【日時】 11月5日(土)

午前11時～12時30分

※雨天の場合は中止

【場所】 はんとく苑(米山町)

【コース】 4・6km、3km、

1・5km、散歩

【申込方法】電話で申し込みください。

【申込期限】 10月28日(金)

【問い合わせ】

はんとく苑

☎0220(55) 2727

長沼フットピア

秋の収穫祭

新鮮野菜の販売やはつと料理などを用意しています。子どもから大人まで楽しめる内容です。

【日時】 11月6日(日)

午前10時～午後4時

【場所】 迫町ふるさと物産館

【内容】 野菜・新米販売、竹とんぼ作り教室、凧揚げ大会はつとコーナー、大抽選会、動物ふれあいコーナーなど

【問い合わせ】

長沼観光売店協同組合

直売会

☎0220(21) 0523

公開教育講演会

笙演奏家高橋由宇氏が演奏を交えながら講演します。

【日時】 11月11日(金)

午後1時30分～3時30分

【場所】 錦織小学校多目的室

【演題】「こころの旅」笙と出会って

【入場料】 無料

【問い合わせ】

錦織小学校(東和町)

☎0220(44) 3506

パソコン相談室

パソコン教室

カレンダーや名簿を作成してみませんか。

【ワード】

【日時】 11月1日(火)

午前10時～正午

11月4日(金)

午後7時～9時

【エクセル】

【日時】 11月8日(火)

午前10時～正午

11月11日(金)

午後7時～9時

【受講料】 2000円

【場所】 迫町にぎわいセンター

第一研修室

【出前コース】

都合のいい時間に合わせて

あなたのお宅へパソコンを持

参し、相談に応じます。

【時間】 1コース4時間

【料金】 5000円

【問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット

ト・みやぎ

☎0220(21) 5262

第4回川東にぎわい市 フリーマーケット出店者募集

11月6日に迫町東中央通り商店会で開催されるフリーマーケットに出店したい方を募集します。

【出店料】 1ブース(1坪)

1000円

【募集店数】 20店(先着順)

【申込期限】 10月30日(日)

【申し込み・問い合わせ】

東中央通り商店会会長

浜寿司 小山

☎0220(22) 2446

瑞樹窯作品展・秋の市

◆瑞樹窯作品展

【開催日】 11月1日(火)

6日(日)

◆峠の里・秋の市

【開催日】 11月3日(木)

6日(日)

【時間】 午前10時～午後5時

【場所】 東和町幸呼里つなぎふれあいセンター、つなぎ公園

【内容】 物産特別販売、ドラマ

缶炭焼き体験など

【問い合わせ】

瑞樹窯 笠政彦(東和町)

☎0220(45) 1226

まるごと いしこしまつり

◆第1部 秋の展示会・芸能祭

【日時】 10月29日(土)～30日(日)

午前9時～午後4時(30日は午後3時まで)
※芸能祭は30日のみ(午前10時～午後3時)

【場所】 石越公民館、石越体育センター

【内容】 菊花、書画などの展示、踊りなどの披露

【問い合わせ】 石越公民館

☎0228(34) 2036

◆第2部 まるごと いしこしまつり

【日時】 11月6日(日)

午前9時30分～午後3時30分

【場所】 チャチャワールドいしこし

【内容】 ステージイベント(和太鼓演奏など)、JAまつり(ジャンボ鍋・餅つき大会)、リサイクルチャリティーバザー、フリーマーケットなど

【問い合わせ】 石越総合支所総務課

☎0228(34) 2111

今日の表紙

9月9日、津山若者総合体育館で行われた宮城県巡回小劇場を楽しんだ、つやま幼稚園の園児たち。休憩時間にちよつとリラックス。笑顔がとてもかわいい園児たちでした。

